

やよいじん 弥生人のすがた

カイトとリュウさんの
かいせつ やよい解説



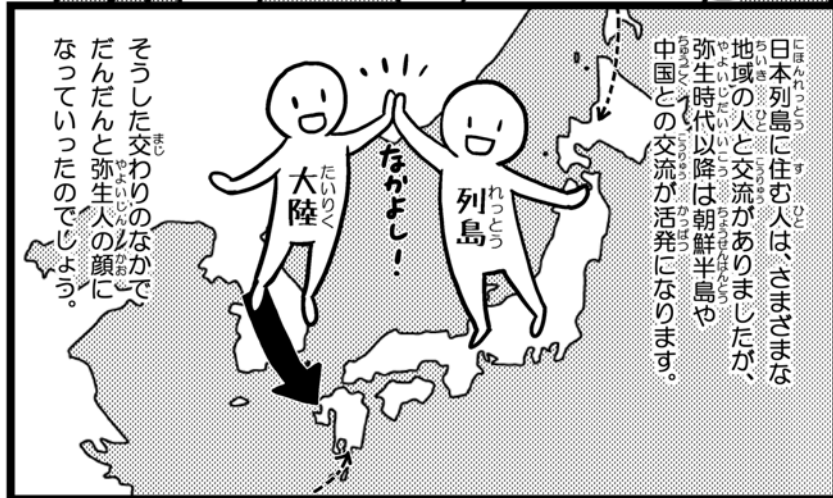
骨からは
色んなことが
わかるのですよ。

遺跡からみつかる
人の痕跡といえは
やっぱり「骨」なん
だよ。

この「弥生人」コーナー
では弥生人の姿を
紹介しているんだ。

こっちはへんな
顔がある！
ここ、こわいわ〜

うわっ！
ガイコツや!!



そうした交わりのなかで
だんだん弥生人の顔に
なっていくたのでしよう。

大陸
列島
たかよこ...

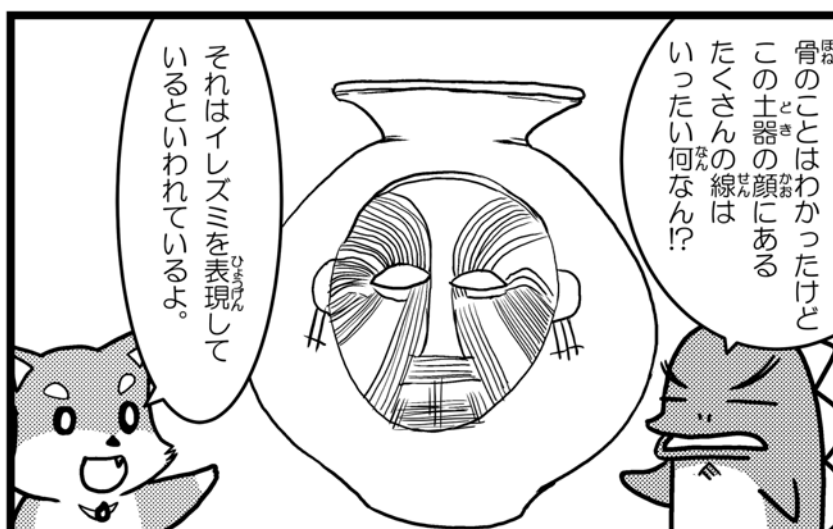
日本列島に住む人はさまざま
地域の人と交流がありました
弥生時代以降は朝鮮半島や
中国との交流が活発になります。



なんでこんな風
変わるんや？

おもなが
ひら
かお
たい
やよい
じん
弥生人
アゴが張って彫りが深い顔
縄文人

たとえば、弥生人と
縄文人をくらべると
こんなに変わっている
ことがわかります。



それはイレスミを表現して
いるといわれているよ。

骨のことはわかったけど
この土器の顔にある
たくさんの線は
いったい何なん!?



「やわらかいものばかり
食べてるとアゴが細くなる」
というもんなあ。

縄文時代にはなかった、
お米を食べるようになった
ことも理由のひとつと
考えられているよ。



おしやれや！
負けずにワシも
おしやれや！



男子無大小、
皆黥面文身。

おしやれや魔除けのような
意味があるのかもしれない。
魏志倭人伝にも
「男子は皆、イレスミを
している」と書かれて
います。